保護者様

千曲市教育委員会
千曲市立小中学校長

臨時休業等の基準について

各ご家庭では、長期間にわたり、感染拡大防止のための対策を継続して実施していただき改めて感謝申し上げます。

さて長野県では、本県の医療体制のひっ迫した状態、「救える命を救うことができない事態を避ける」ための正念場であることを踏まえ、「医療非常事態宣言」に加え、9月4日までを期限とし、全県に「BA.5対策強化宣言」が発出されています。

学校においては、レベル6「医療非常事態宣言」発出に伴う今後の教育活動について(R4.8.22)に基づき、改めて感染防止対策の徹底を図りながら、感染拡大の防止と学びの継続の両輪に取り組んでいます。

しかしながら今後も学校内で感染拡大の可能性が考えられる場合には、下記のとおり臨時休業としますのでご確認いただき、ご理解ご協力をお願い致します。

記

1. 臨時休業等の判断について

【学級閉鎖】

- 以下のいずれかの状況に該当し、かつ、学級内で感染が広がっている可能性が高い場合、学級閉鎖を実施する。
 - ① 同一の学級において複数の児童生徒等の感染が判明した場合
 - ② 感染が確認された者が1名であっても、周囲に未診断の風邪等の症状を有する者が複数いる場合
 - ③ その他、千曲市教育委員会で必要と判断した場合
 - ※ ただし、感染可能期間(発症二日前)に学校に来ていない者の発症は除く。
 - ※ なお、保健所等による濃厚接触者の特定が行われる学校においては、感染が確認された児童生徒等1名に加えて、複数の濃厚接触者が存在する場合についても、学級閉鎖を実施することも考えられる。
- 上記において、「複数」としている趣旨は、人数に着目したものではなく、学級内における感染拡大を防止する観点であることから、例えば、同一の学級において、複数の児童生徒等の感染が確認された場合であっても、その児童生徒等の間で感染経路に関連がない場合やそのほか学級内の他の児童生徒等に感染が広がっているおそれがない場合については、学級閉鎖は行わない場合もある。
- 学級閉鎖の期間としては、5日程度(土日祝日を含む。)を目安に、感染の把握状況、感染の拡大状況、児童生徒等への影響等を踏まえて判断する。

【学年閉鎖】

- 複数の学級を閉鎖し、且つ学年内で感染が広がっている可能性が高い場合、学年閉鎖を実施する。

【学校全体の臨時休業】

- 複数の学年を閉鎖し、且つ学校内で感染が広がっている可能性が高い場合、学校全体の臨時休業を実施する。保健所等による濃厚接触者の特定が行われる学校については、全体像が把握できるまでの間、臨時休業を行うこともある。

二学期がスタートしていますが、感染不安や感染によるストレスをはじめ、新型コロナウイルスに関する様々な不安や悩みを抱える児童生徒が増えることも予想されます。何かありましたら遠慮なく学校へご相談ください。